

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介させていただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

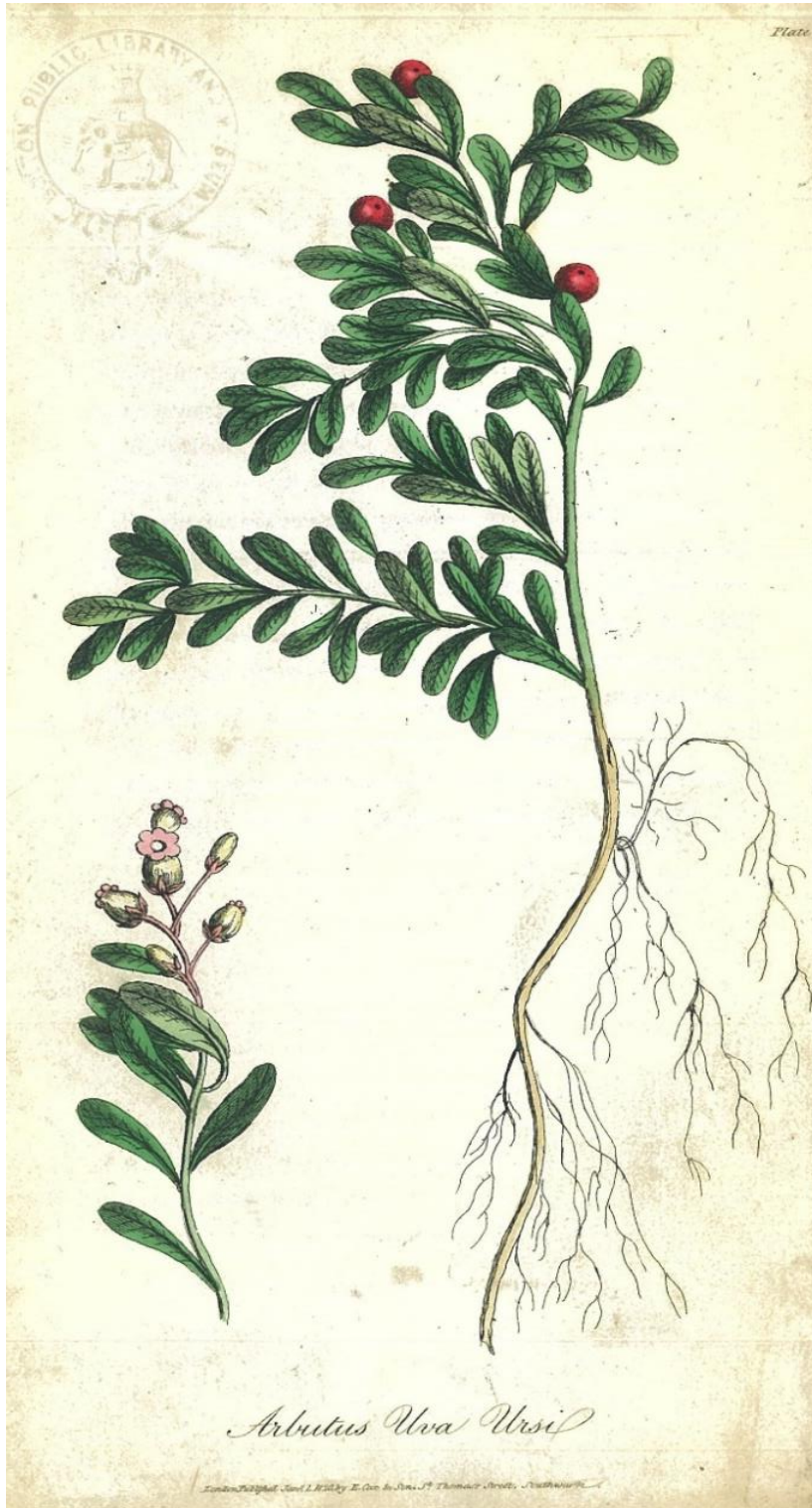
ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第19回

ウワウルシ



ウワウルシ(学名:熊苔桃 *Arctostaphylos uva-ursi*)はツツジ科に属する小木で世界の涼しく湿気が多い地に自生しています。

日本の高山地帯に見られるコケモモとよく似ています。夏に白い小さな花を開き、秋には赤い果実を結びます。果実は熊の好物です。このことから学名に熊の単語が入っています。

葉には美白で有名なアルブチンを含んでいます。葉を煎じますとアルブチンが抽出され、それを飲むと腸内細菌により糖が切れて殺菌作用の強いハイドロキノンに変化しますので、尿路感染症、例えば腎臓炎、腎盂炎等の時に服用します。

医薬品としてはウワウルシが広く流通していますが、ウワウルシが入手出来なかった戦時にはコケモモが代用品として用いられていました。

1810年ウイリアム・ウドビルにより描かれました。